



作文部門

小学校低学年の部

水を大切にしたい

富士市立須津小学校 二年 武田 庵李

八月十九日、とうきょうとにじの下水道かんへいきました。しんかん線とでん車でいきました。おともだちとおともだちのお母さんと、ぼくのお母さんでいきました。ついてすぐに、本ものの下水道かんのえいぞうが見れるところがありました。大きさがしれておもしろかったです。つぎに水の国のウォルターというえいが見ました。水を大切につかってねとつたえいたいだろうとぼくは思いました。ぼくが一ばん、おもしろいなと思ったのは、「アースくんのいえ」です。アースくんのいえとは、本もののいえで、水をながすと、水は、どこにいくのか下がとうめいなので見えます。トイレとおふろ、せんめんじよ、キッチンで水をながすとどうなるかが見えました。トイレで水をながすと、下水道かんへながれていきました。ながれるそくどが、速かったです。ぼくと、友だちが水をおいかけました。それが一ばんたのしかったです。

「スゴイ速さでながれてるよ。」

とぼくが言いました。じゅんばんどもだちとしました。水をながすのとながれた水を見るのでわか

れました。アースのいえ全ぶの水をおいかけました。それを見て全ぶつながっていることに、気がつきました。さいごには、ながれた水が一つになつてることがわかりました。さいごに、ボールサーカスへ、いきました。ボールサーカスとは、ボールが水のやくで水が海までいくしくみが体けんができます。まず、雨水がふつてきます。キレイになるところで生活でつかえる水になります。それぞれのいえなどでつかわれます。そのあとに、きたない水とキレイな水に分けられます。キレイな水は、海へいきます。きたない水は、キレイにされてから海へながれます。たいようで、水じよう気になりかたまつてくもになり、たいようでとけて雨になります。と、言うことは、くりかえされていると思いました。自分がつかった水は、もどつてくると気づきました。それにおどろきました。これからは、水を大切にしたいと思っています。

評

夏休みに東京都「虹の下水道館」へ行き体験した驚きや感動を生きて書くことができました。

「アースくんの家」でトイレやお風呂、キッチンの水がどこに流れていくのか追いかけたり、「ボールサーカス」の体験で、水の役をするボールの旅を見たり聞いたたりしている楽しそうな表情が思い浮かぶようでした。下水道の役割や水のじゅんかんの仕組みを楽しみながら知ったことで、水の大切さに気づいた庵李さんの「水を大切にしたい」という思いは、本物だと感じることができました。



作文部門

小学校低学年の部

どきどきじょうかセンター

富士市立須津小学校 二年

渥美 莉朋

下水道についてもつとべんきょうするため、じょうかセンターへけんがくに行きました。びせいぶつがよごれをたべているとはしらなかったのです。ごくべんきょうになりました。一てきのよごれたなかにはおくびきいるとしつてびつくりしました。やく五十しゅるいのびせいぶつがいます。びせいぶつをかんさつさせてもらえました。わたしは、七ひきのびせいぶつがみえました。アメーバは、ぺたんぺたんとかたちをかえながらうごいていました。アルセラはやくとおりすぎていきました。バキニコラは、ちぢんだり、のびたりしていました。エピステイリスはうごいておらず、いろいろな大きさでした。びせいぶつもわたしたちと同じでいきをしています。なので、そうふうきというきかいでくうきをおくっていました。はんのうタンクというそうふうきで空気をおくっているび生ぶつがいます。みましました。さいしよのきたない水はくさかったけど、はんのうタンクの水はすこしきれいになっていてび生ぶつのおかげだなおもいました。び生ぶつのきらいなものは、あぶらです。さいきんわたしもおりよ

うりをてつだっています。なのであぶらはふきとるようになします。あぶらのほかにも下水道にながしてはいけないものがありました。やさいくず、やくひん、ビニール、わりばし、かみのけ、おちば、すな、かみおむつです。これからわたしは、おちばやごみひろいをするようになります。



作文部門

小学校低学年の部

地下を流れる水のひみつ

富士市立富士第一小学校 三年 高瀬 ひかり

わたしは、トイレの水がどこに流れていくのか、マンホールは、なぜあるのかが気になったのでしらべてみました。

トイレの水をそのまま海や川に流すと、水がよごれてびょう気がふえてしまします。中せいのヨーロッパでは、下水がなくてコレラなどのびょう気が流行したそうです。

トイレの水が流れると汚水になり下水かんを通って下水しよ理場に運ばれます。下水しよ理場に運ばれてきたない水はさまざまなしせつやせつびをとおしてさいごは、川や海に流されます。下水しよ理の時にでてきたどろはしよきやくしよ理されてからうめたてしよ分場へ運ばれます。しよきやくする時のはいねつは、エネルギー源としてりようされます。ふじ市では、その、エネルギーをしよりじようのねんりようとしてつかっています。

マンホールはなぜあるのかというと、人が地下を点けんするためです。地下には、下水道、ガスや電気などがあります。家のまわりのマンホールを見てみたら汚水とかかれた大きいマンホールと二十二セ

ンチの小さいマンホールは、おすいますとよばれ、家のトイレやおふろから出た汚いよごれた水をあつめて下水かんに流します。つまった時の点けんにもつかわれます。マンホールは、地いきによつてかかれてる絵がちがいます。わたしの家の近くでは、ふじ山の絵がかかれていました。京とでは、ピカチュウの絵がかかれていました。まつどのおばあちゃんの家の近くでは、コアラの絵がかかれていました。なぜかという、近くにユーカリ交通公園があるからです。ユーカリは、コアラが大好きなしよくです。だからマンホールにコアラの絵がかかれるようになったそうです。

今回、下水のしせつを調べたら、わたしたちのくらしに大切なやくわりをはたしていることが、わかりました。マンホールのふたがちいきによつていろいろな絵がかかれていますことがわかつておもしろかったです。もしわたしが、富士市のマンホールのふたの絵をかくなら、お茶畑と富士山やバラの花の絵をかきたいと思いました。

下水道

富士市立須津小学校 二年 原 妃希

けんみんの日に、友だちとかのがわのじようかせンターに行きました。

わたしは、下水道のことはしらないことばかりな

ので、たくさんしることができたので行けてよかったとおもいました。

じょうかセンターは、とても大きくて地下しつや、モニターがたくさんあるへや、はつでんきがありました。

わたしは、よごれた水をとくからかぎました。とてもくさかったです。

きつとうごかなかったらいえやどうろもこのにおいになってしまふとおもいました。だから、ていでんした時も、このはつでんきがうごいてくれているので下水道は、とてもたいせつだとおもいました。

よごれた水をきれいにするタンクも見ました。はじめ下水道にながれてきた小さなゴミがうかんできでつくったくうきのぶくぶくで、びせいぶつがげんきにたべて水がきれいになることをおしえてもらいました。

たいけんできるところでは、よごれた水のびせいぶつをけんびきょうで見えました。たくさんびせいぶつがいきました。

わたしのお気にいりはアメーバです。ぐによぐによのへんな形でもしろかったからです。

びせいぶつは、あぶらがにがてで食べられないそうです。わたしはお父さんやおばあちゃんにもすぐにおしえました。みんながそのことをしつて、あぶらを水でながさないでくれるといいな。とおもいました。

らいねんも、じょうかセンターの見学があるとおしえてもらったので、また行きたいなとおもいま

た。

かの川せいぶじょうかセンターに行つたよ。

富士市立富士第一小学校 二年 川田 和来

今日は、しずおかけんみんなの日です。とくべつに、かの川せいぶじょうかセンターの見学ができました。

ぼくが、すごいな、と思ったばしがあります。しせつ見学の時に見た水しよりとうです。下水道からおくられてきたうんちやきたない水がさいしよちんでんちで、大きいゴミやかすをとります。つぎに、はんのうタンクで、空気を入れてぶくぶくさせたところにゴミをたべてくれるび生ぶつがいいます。ぼくは、それを聞いてびつくりしました。なぜなら、ありよりも小さいのにび生ぶつがゴミをたくさんたべて水をきれいにしてくれるからです。さいごのさいしようちんでんちの水で、ゴミをたべたび生ぶつがしずんでいきます。そのあとしよどくされた水は、川にながされます。

ぼくは、下水道はこんなに工ふうされてリサイクルされているんだな、と思いました。ぼくが、エコのためにできることは、二つあります。

一つ目は、あぶらをふいてからおさらやフライパンをあらうことです。なぜなら、び生ぶつはあぶら

がきれいで、分かいができないからです。
二つ目は、あらいいものをする時にスポンジであ
らったあとに水をながすことです。なぜなら、水を
出したままあらうと水がむだになるからです。

あつて良かった下水道
富士市立富士第一小学校 二年 渡邊 瑛斗

ぼくは、六月に、大阪市下水道科学館へ行きました。そこで、マンホールの絵は市ごとにちがうことをはじめてしりました。そして、大阪市のマンホールカードをもらいました。

それからぼくは、マンホールカードをあつめることにしました。富士市のマンホールカードは、富士山とトイレットペーパーでした。ピンク色の富士山の色づかいが、きれいだなと思いました。

これから、りようこうに行つた先でマンホールカードをもらうのが楽しみです。

そして、マンホールよりも下水道のことをしりたくなりました。だから、図書館で「下水道のひみつ」という本をかりて、読みました。

その本で、ぼくが一番ビックリしたことは、むかしは下水道がなかったから、汚れた水やウンチやオシッコを家のまわりにすてていたことです。

(きつと、くさくてきたなかつただろうな。そんな町にはすみたくないな。)と、思いました。

今は、汚水を家のまわりにすてたりしません。下水道が下水処理場につながっていて、び生物が汚水を食べてくれて、水をきれいにしてくれます。そういうせつびを作ってくれて、ほんとうに良かったです。び生物のおかげできれいな川や海を守れているから、ぼくは、び生物をおうえんしたくなりました。

今度は、下水処理場のことをもっと知りたくなりました。見学できる所もあるから、行って、び生物が汚水を食べているすがたをじつさいに見てみたいです。